

Title	2016年度『学会賞』選考結果
Sub Title	
Author	岸田, 和明(Kishida, Kazuaki)
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2016
Jtitle	Library and information science No.76 (2016.) ,p.63- 63
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000076-0063

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2016 年度『学会賞』選考結果

学会賞選考委員会委員長

岸 田 和 明

三田図書館・情報学会学会賞は、会誌である Library and Information Science に掲載された優れた論文の著者に与えられる賞です。本年度は 74 号と 75 号に掲載された原著論文 7 編を対象に厳正な審査を行った結果、以下の論文を学会賞として選考いたしました。

西川和

英米における西洋古典籍の総合目録の作成規則の変遷とその理由。

Library and Information Science, no. 74, 2015, p. 31-60.

[授賞理由]

本論文は、3つの西洋古典籍総合目録における作成規則の時代的な変遷を洗い出し、その変化の理由を考察したものである。具体的には、研究対象として *A Short-Title Catalogue of Books Printed in England, Scotland, & Ireland and of English Books Printed Abroad, 1475-1640* (STC), *Short-Title Catalogue of Books Printed in England, Scotland, Ireland, Wales, and British America, and of English Books Printed in Other Countries, 1641-1700* (Wing STC), *English Short Title Catalogue* (ESTC) の3つの総合目録がいくつかの理由から選択された。このうち、STCとWing STCについては、一般的にはその作成規則が知られておらず、本研究は、実際の目録データを調べることによって、総合目録の作成時に適用された規則を推測している。その結果として、公にはなされていない、西洋古典籍総合目録の作成規則に関する新たな知見をもたらし、さらには、図書館目録の規則の研究のための新たな方法論の可能性を示したと考えることが可能である。本論文の最終的なねらいは、作成規則の時代的な変遷を明らかにして、その変化の理由を論じることであり、上記の作成規則の再構成およびESTCの作成規則の分析を通じて、その試みは一定の成果を収めていると評価できる。作成規則の再構成の妥当性を判断する材料が論文中にほとんど含まれていないことや、事実の並列的な列挙に終始する部分が散見されるなど、論文としてはやや粗削りな印象が残るものの、一貫して丹念な分析・記述により議論が進められており、今後の期待も込めて、学会賞を授賞するのに十分であると判断した。